

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-4-1 子育て環境の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 青少年家庭課子ども・子育て支援室長 河原 賢 電話番号 0852-22-6071

事務事業の名称	みんなで子育て応援事業（こっころ事業）	
目的	(1) 対象	子どもやその保護者、子育て家庭を取り巻く県民
	(2) 意図	誰もが、子どもや子育てに関心を持ち、子育てを社会全体で応援する気運を醸成する
事業概要	子育てを社会全体で応援する機運を醸成するため、子育て家庭や妊娠中の方がいる家庭に対し、協賛店において様々な子育て支援サービスを受けることのできる応援パスポートを交付する。 子育て支援に取り組む民間団体や子育て支援の担い手の活動を活性化するため、当該団体や担い手に対し、活動経費の一部を支援する。 子育てを社会全体で応援する機運醸成や子育て支援の取組の普及啓発を図るため、特に優れた子育て支援団体等を表彰する	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	こっころ事業の協賛店舗数	2,205	2,219	2,260	
式・定義	こっころ事業の協賛店舗数	達成率		96.50	94.20	93.90		%
		指標名	子育て支援に取り組む団体の数	131.00	144.00	162.00	180.00	
式・定義	こっころ隊の登録団体数	達成率		125.60	121.10	78.30		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	10,195	7,923
うち一般財源(千円)	10,195	7,923

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

・こっころパスポート事業の協賛店舗は、廃業等による脱退が毎年数十件ある中で、それを上回る新規登録があり、目標値には届いていないものの登録総数は着実に増えている。また、今年4月から中国五県での連携が始まり、サービス内容が拡充された。
・こっころ隊の登録団体も目標値には届いていないものの、登録総数は確実に増えている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

協賛店の増加や中国五県連携の好影響で、こっころパスポートの認知度はさらに上昇し、社会全体で子育てを応援する機運醸成に寄与した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・こっころパスポート事業は協賛店の理解・協力の上で成り立つ事業であるが、基本的にはHPでの紹介のみで協賛店をPRする場が少ないなど、協力が十分に促されていない。

②困っている状況が発生している「原因」

・協賛店やサービス内容をPRする場が不足している面がある。

③原因を解消するための「課題」

・協賛店やサービス内容を更にPRするため、既存事業である子育て応援情報誌「コトヒト」の更に効果的な活用やイベントの実施方法の見直しなどを検討する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・国においては、こっころカード（子育て支援カード）の全国展開を予定しており、各県によりカードの交付要件が異なるなど課題もあるが必要な対応をしていく。こうした対応を含めサービスの拡充など子育て支援の輪の拡大を図っていく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）